

おおの

議会だより

No. 89

平成3年10月25日

発行

大野市議会事務局



市子ども劇場

楽しかった童話げき「きんのがちょう」

劇団たんぽぽ公演 (9月29日)

審議日程

- 10日 本会議 (会期の決定、議案上程、提案理由の説明)
- 11日 休会
- 12日 本会議 (一般質問)
- 13日 本会議 (一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託)
- 14日 休会
- 15日 休会
- 16日 休会
- 17日 委員会 (建設・産業経済)
- 18日 委員会 (教育民生・総務)
- 19日 委員会 (総合病院対策特別)
- 20日 本会議 (各委員長報告、質疑・討論・採決、追加議案、市会案上程、採決)

第257回 9月定例会

11議案を可決・同意

平成2年度各会計歳入歳出決算認定は継続審査

第257回 定例会市議会は9月10日招集され、会期を20日までの11日間と定め、理事者から提出の議案13件と市会案4件を審議しました。

初日には、「平成3年度補正予算案」をはじめ、提出された議案について、提案理由の説明が行われました。

12、13日には一般質問が行われ、質問終結後、各議案ならびに請願・陳情が各委員会に付託されました。

最終日には、理事者から提案の議案8件を可決。引き続き追加提案された人事議案3件に同意の後、議員提案による「非核都市平和宣言に関する決議」など4件を可決しました。

その後、任期満了に伴う選挙管理委員および補充員の選挙が行われました。市民の皆さんから出された請願・陳情の結果は別掲のとおりです。

市政をきく 一般質問から

市街地活性化対策について

問 ①駐車場の確保は、市街地活性化対策の重要な施策の一つである。駐車場の全体的な基本計画を示せ。

②「歴史の路整備事業」の具体的計画と地元負担の割合について伺いたい。

答 ①まだ整備されていない越前大野駅前駐車場を整備する。

また観光客が集中する日曜・休日は、市役所前等の公共施設利用の周知を図る。さらに公営駐車場だけでは限界があるので、事業所や商店街等民間の協力を得るための努力もしたい。

②本年度は七間通りの本町一五番間を石畳舗装に改良する。平成四年度は七間通りの五番

寺町間と寺町通りを、五年度は石灯籠通りの舗装と歩道の石畳舗装、そして現在の元町駐車場の一部を名水公園にする計画で、総事業費は六億八千五百万円である。これに対する地元負担金はない。

道路位置決定のプロセスと現状について

問 中部縦貫自動車道、六間から国道一五八号線のアクセス道路、東縦貫線道路等の位置決定までのプロセスと現状について伺いたい。

答 中部縦貫自動車道の基本計画における道路決定は建設省が国土地理院の図面を基に行うもので、市町村は参画していない。これは大規模な高速交通体系であり、合法的に策定するためである。

市としては、沿線関係区長を中心に説明会を開催したが、津川から和泉村までのルートが未決定であることと、インター付近の開発計画等の諸問題があるため、建設省による地元説明会ができず大変遅れている。

東縦貫線と六間から国道一五八号線へのアクセス道路は、いずれも都市計画街路として、次のプロセスが必要である。
一、素案の作成と県との協議

- 二、地元説明会
 - 三、原案の作成
 - 四、市の都市計画審議会に諮り決定し、公告・縦覧
 - 五、住民の意見により調整
 - 六、県の都市計画審議会に諮問
 - 七、知事の承認
 - 八、都市計画の決定、県段階での告示および縦覧
 - 九、計画予算承認で着工
- 現在、アクセス道路は素案作成の準備段階であり、東縦貫線は地元説明会の段階に入ったところであるが、まだ一部の集落の同意が得られていない状況である。

国道一五八号線について

問 君が代橋からニチコン(株)大野工場に至る間は、四車線化の用地買収が終っているがまだ一部しか四車線化ができていない。この遅れている原因は何か。

答 ニチコン(株)大野工場から君が代橋間は全長約六・二kmで平成六年度までに約三・四kmが完成することになっている。残りの二・八kmは、整備計画が未定であるので、あらゆる機会を通じて早期に整備計画区間に組み入れるよう関係機関に要望していく。

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第四十九号	平成三年度大野市一般会計補正予算(第二号)案	原案可決
第五十号	平成三年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)案	原案可決
第五十一号	平成三年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)案	原案可決
第五十二号	平成三年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)案	原案可決
第五十三号	大野市高齢者保健福祉基金設置条例案	原案可決
第五十四号	大野市体育施設設置条例の一部を改正する条例案	原案可決
第五十五号	大野市公共施設使用料徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決
第五十六号	大野市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第五十七号	平成二年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査
第五十八号	平成二年度大野市水道事業会計決算認定について	継続審査
第五十九号	教育委員会委員の任命について	同意
第六十号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第六十一号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
市会案第九号	非核平和都市宣言に関する決議	原案可決
市会案第十号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	原案可決
市会案第十一号	第八次治水事業五カ年計画二十兆円満額確保に関する意見書	原案可決
市会案第十二号	治山事業の促進に関する意見書	原案可決

福祉対策について

問 ①保育料の算定に当たり、入所児童の父母以外の所得を認定することには問題があると思いが、どうか。

②当市には高齢者サービsteamを設置してあるか。あるのなら、その活動状況について。
③特別養護老人ホームへの入所希望者が多くてなかなか入所できないと聞か、その解決方法はないのか。

④当市の七十歳以上の人で、老人性白内障にかかっている人が二千四百八十五人いるといわれているが、手術時に入れる眼内レンズに助成する考えはないか。
答 ①保育料の算定基準になる



奥越初の老人保健施設

所得者の認定については、各市とも同じ方法で行っている。法改正の過渡期でもあり、今後は国・県の方針を見ながら対応していきたい。

②高齢者サービsteamは昭和六十二年に設置している。チームの構成は民生委員、保健婦、社会福祉協議会、家庭奉仕員、施設代表と行政である。

それぞれ立場で意見の調整を図りながら、きめ細かい施策を目指し活動している。

③九月一日現在の待機者は、特別養護希望者二十七名、養護が五名である。

近く、福祉法人の老人健康施設が完成するので、こうした施設への入所措置により待機者が減少すると思う。

④当市では助成していないが、今後国または他市の状況を十分把握しながら検討する必要があると考えている。

公民館活動の充実に ついて

問 公民館活動の充実に向けて大野公民館を現在地から移転して新築し、市の中央公民館として位置付けして運営することはできないか。

答 大野公民館は昭和四十一年に完成してすでに二十五年を経

過している。

その間、市民生活の向上、発展する市街地の形成状況等から現在の位置も構造も、多様化する教育需要の増大に対応し難いと認識している。

二十一世紀に向けての市街地整備基本計画の実施計画の中で考えていきたい。

また、中央公民館としての位置付けについては、住民の意向として小学校区単位の公民館設置の考えもあり、諸般の状況を踏まえ関係者と協議を図りながら研究していきたい。

大東染工の移転に ついて

問 ①大東染工の麻生嶋への移転が進んでいるが、聞くところによると全工場の移転でないとのことであるが、どうか。

②近年の社会変化が著しい中で公害防止協定は十年ぐらいで更新することが適当と思うが、どうか。

答 ①会社も厳しい経営環境の中にあつて鋭意努力しており、昭和五十四年に第一期工事として包装梱（こん）包部門が、昭和六十年に検査部門、本年六月には精練部門が移転した。

さらに第四期工事として精練検査工場を増築したが、生産部

人事案件

教育委員会委員の任命に同意

北岑武夫氏 (45歳)
(牛ヶ原3-90)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

高井精二氏 (58歳)
(平沢領家12-31)

人権擁護委員候補者の推薦に同意

明石禮子氏 (69歳)
(中津川31-13-1)

門の主要である染色工場が残っており、この移転が完了するにまだ期間を要する見込みである。

②公害防止協定は相当期間を経っており、実情に適合するかどうかが十分調査検討したい。

中据の企業誘致に ついて

問 ①今までに工業団地を造成しておれば、今回のような問題が生じなかったのではないか。

②丹羽鉄工所を誘致する場所を変更することはできないか。
③丹羽鉄工所が当市に立地するのは、T・N・Wなのか丹羽鉄工所だけなのか。

④公害防止協定を作成する際に食品業や、「大野の水を考える会」「名水保存会」等の代表を入れる考えはないか。

答 ①昭和六十三年に大野市全域にわたって、コンサルタントに委託して工場適地調査を実施

した。行政はこの報告書を参考にしながら工場適地を選定するが、いずれも地権者があり軽率には言えない。

②企業の進出には当然交通の便土地の単価、労働力確保の問題がある。

中据地係は、農村活性化対策の一環として選定した地域の一つである。当地は企業側も希望し、地元

の協力もあつた。公害は出ないと確信して進めており変更する考えはない。

③T・N・Wの「T」は豊田自動車織機、「N」は丹羽鉄工所である。当然企業の資料に基づいて計画している。

④関係機関と協議して、大気汚染、水質汚濁、悪臭等を勘案した総合的な公害防止協定案を作成する。成案ができ次第、各界各層の代表で構成する大野市環境保全対策審議会で十分協議することになっている。

選挙管理委員を選挙

10月9日で任期満了となる選挙管理委員及び補充委員の選挙が行われ、次の各氏が選ばれました。

○選挙管理委員

長谷川研一氏 (68歳 本 町)
 長谷川 久氏 (69歳 中 保)
 永田 房子氏 (69歳 新 庄)
 松田 孝信氏 (68歳 上 野)

○補充員

北山由美子氏 (53歳 牛ヶ原)
 皆川 英樹氏 (57歳 下 据)
 稲津 孝彦氏 (66歳 南六呂師)
 坂田 玉子氏 (69歳 本 町)

公共下水道計画の促進について

問 当市の公共下水道計画では市街地を第一期事業として、十年間で完成したいとしているが、終末処理場用地の確保や環境施設計画、さらには下庄北部に関連する重要な事業について総合的な計画を立て、地域住民の理解を得ることが必要と思うが、

①計画がまとまる時期
 ②用地取得の時期
 ③工事着工年度

答 ①下庄北部地域は終末処理場をはじめ、中部縦貫自動車道・東縦貫道路の整備、工業団地造成等、多くの重要事業が集中しているため、庁内に「下庄北部総合検討委員会」を設置して検

し尿処理施設について

問 簡易水洗の普及に伴う処理対象物の質的变化とくみ取り量の増加に対する対応が求められている中で、現在の施設は老朽化が進み、処理能力が低下しているが、更新または改造する考えはないか。

答 既存施設の主要な設備は、昭和四十六年度に設置されたも

地域老人保健福祉計画の策定について

ので、老朽化が目立っている。処理対象物も質的变化が著しく、かかる状況から市では施設の機能維持管理の状況、設備装置の状況等を把握するため、本年二月に衛生処理場の精密機能検査を実施した。施設が更新されるまでこれを参考として維持管理していく。

問 昨年、福祉に関する八法が改正され、特に老人福祉法では平成五年四月までに、各市町村は「地域老人保健福祉計画」を策定するよう義務付けられている。この計画の策定に当たっては、住民の意見を反映させる必要があると思うが、どうか。

また、高齢化社会に向けて行政と市民が一体となって取り組む方策として、「高齢者憲章」を制定し、市民にアピールする考えはないか。

答 現在、県においてこの計画の基礎調査を行っており、この結果を踏まえて平成四年度までに当市の老人保健福祉計画を策定したい。策定に当たっては、仮称「計画策定委員会」の設置を考えている。憲章については今のところ制定する考えはないが、今後検討したい。

請願・陳情の審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願五号	新町区の集会所建設について	新町区長 山本龍馬 外五名	継続審査
陳情十一号	平和問題に関する陳情書	日本労働組合総連合会 福井県連合会会長 花澤和實 外一名	採 択
陳情十二号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める陳情書	福井県教職員組合 大野支部執行委員長 高松信夫	採 択
陳情十三号	市立集会所の建設について	若里区長 南部治 外五十八名	継続審査
陳情十四号	里芋の基金造成増額要望について	大野市特産野菜生産 安定事業協会会長 大葎原 登 外二名	採 択
陳情十五号	総合病院の早期建設について	大野市区長連合会 会長 影路昭治 外二十六名	採 択
陳情十六号	上五条方公民館の改築について	上五条方区代表 建石信治 外五名	継続審査
陳情十七号	七間石畳舗装についての陳情書	七間商店街振興組合 理事長 宮本 弘 外二名	採 択
陳情十八号	七間石畳舗装についての陳情書	元町一区区長 杉本夏男	採 択
継続 分 陳情九号	大野総合病院(医誠会)グループ(谷幸雄申請)の誘致の可否に対する知事への具申について	大野総合病院建設 促進期成同盟会 安田武雄 外三名	継続審査
陳情十号	青年会館建設と公共施設の利用時間延長について	大野青年連絡会 会長 北川和文	継続審査

三番線街路拡張について

問 三番線街路の拡張計画について伺いたい。

- ① 拡張に伴う物件と移転先は。
- ② 整備完了はいつごろか。
- ③ 観光公衆トイレの設置はその後どうなったのか。

答 三番線街路の拡張計画は、駅前清滝線との交差点から六間通りに至る延長三百十m、総事業費九億円余で昭和六十三年度から着工している。

- ① 現在までに、移転予定件数、買収予定面積等の三分の一程度が解決した状況である。
- ② 計画では平成七年までに完了

「非核平和都市宣言」を決議

市議会は、真の恒久平和と核軍縮をめざすために「非核平和都市宣言」を全会一致で可決しました。

決議文は次のとおりです。

非核平和都市宣言

真の恒久平和と安全の願いは、人類共通のものである。今日、核軍縮への努力とその成果はあるものの、依然として核兵器による世界の平和への脅威は深刻なものがある。我が国は、世界唯一の被爆国として戦争の悲惨さを子々孫々に伝え、人類の上にふたたびその惨禍を繰り返させてはいけな

い歴史的使命を担っている。日本国憲法の平和を求め戦争を放棄する崇高な理念に基づき未来へ誇り、うる郷土と豊かな暮らしを次の世代に引き継ぐことは、我々の責務であり、地方自治の基本的理念でもある。よって、本市議会は国是である「核兵器を作らず、持たず、持ち込ませず」の非核三原則を堅持し、すべての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するため、ここに「非核平和都市宣言」をする。

平成三年九月二十日

大野市議会

する予定である。

- ③ 平成二年度に計画立案したが公共下水道がなく、浄化槽方式でも臭気等に問題があるとのことから、隣接地の協力や土地の提供が得られなかったため断念した。

住民監査請求等について

問 住民監査請求や住民訴訟が起きているが、これは市長の政治姿勢が問われていることであると思う。これに対し市長はどう考えているのか。

答 住民監査請求はエキサイト広場の体育施設に対する入札問題についてである。

公表はできないが、明確なリンク付けの名簿を備え、特に指名業者の選定については最善の配慮をしているし、厳正に処理している。

中据工業団地に係る訴訟問題については、今後裁判の中で論議を行い明らかにしていく。

政治姿勢としては、これまで公明正大にやってきました。

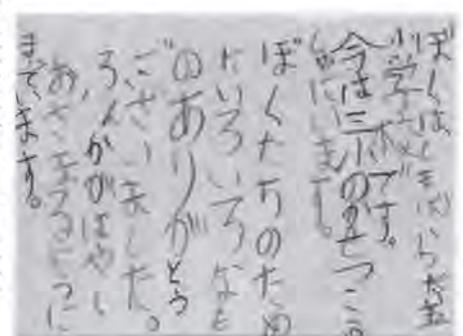
今後はこうした問題にも十分配慮し、私の与えられた職務に全力を傾注し、住民福祉の向上に努める。

高齢者の住みよいまちづくりについて

問 高齢者の住みよいまちづくりに対する小さな心配りとして次の点について伺いたい。

- ① 歩道と車道の段差が高くなってきたり、また流雪溝のグレーチングに杖つえがはさまり老人が転倒する事例が多いと聞くが何か対策を考えられないか。
- ② 路線バスに替わる老人の足の確保対策は。
- ③ 越美北線の車内トイレが廃止されたが、これに替わる措置はないか。
- ④ ショートステイや老人健康施設等の利用方法について、手引き書の発行は考えられないか。

答 ① 歩行者の安全管理上から



雲仙普賢岳の噴火により被害を受けた島原市に対し、大野市議会議員一同で義援金を贈りました。そのお礼として、島原市立第五小学校2年生 山本てつろう君より当市議会あてにお礼状が届きました。

農業農村活性化事業促進について

各家庭に配布している。中間施設としての老健施設は現在建設中であり、完成した段階で市報等に掲載したい。

問 昨年、当市は「農業農村活性化事業」の県指定を受け、基本構想を策定したが、この構想を実施する行政の熱意と意気込みを聞きたい。

答 基本構想の内容としては、基幹作物である米の生産コストの引き下げ、土地の合理的高度利用、農地流動・集約化、農業の自由委託の推進、農機具の効率利用を図る生産組織づくりとその育成、集落営農の推進等多くの計画があるが、これらの実現に向けて鋭意努力し、また支援もしていきたい。

委員会報告

各委員長報告から

●総務常任委員会

○請願・陳情について

「平和問題に関する陳情書」については、すべての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するためのものでありその趣旨を了として全会一致で採択とし、市会案として「平和都市宣言に関する決議」を提出することで意見の一致をみた。「七間石畳舗装について」の二件の陳情書については、いずれも早期着工・完成を要望するもので、予算付けもあるところ

であり全会一致で採択とした。

しかし、工事着工に当たっては地域住民のコンセンサスを十分得ながら施行すべきとの意見が述べられた。

三地区より提出のあった「集会所の建設を求める請願・陳情」については、いずれも集落単位の市立集会所建設を要望するものであり、他地区との公平を欠くことにもなるので、今後理事者において集会所の建設計画を確立するまで継続審査とすることに意見の一致をみた。

●建設常任委員会

○歴史の路整備工事費について

「越前おおの歴史の路」整備工事費一億九千五百万円は、ふるさと創生事業の一環として、またハイマート二十一事業との

絡みからも、賛成多数で原案を可とすることに決した。

なお、この事業については、除雪等に関する嘆願書の提出もあり、関係住民の理解と協力を得て工事の施行に当たるようにとの意見があった。

●産業経済常任委員会

○陳情について

今回、大野市特産野菜生産安定事業協会等から「里芋の基金造成増額要望について」の陳情書が提出されている。

この基金の趣旨は、里芋の価格が下落した場合に、その価格の一部を基金の果実より補填（てん）して、生産者を救済しようというものである。しかし、現在、里芋の収量の増加のために努力している団体等もあり、こうした団体にもこの基金の果実運用してもよいのではないかとの意見が述べられた。

●教育民生常任委員会

○テニスコートの使用料金について

今回、明治公園テニス場の新設に伴い、大野市公共施設使用

料徴収条例の一部改正案が提出されている。

この改正案の中に高校生以下の生徒からも使用料を徴収する規定があるが、本来、この施設は利益を追及するために設置されたものではなく、市民の体力の増進を目的として造られた施設である以上、所得のない生徒から使用料を徴収するべきではなく、減免規定の適用など弾力的な運用を望むとの意見が述べられた。

○粗大ゴミの処理施設設置について

粗大ゴミを処理する大型破砕施設を設置するための計画書の作成委託料が計上されているが、この大型破砕機の導入以前の問題として、粗大ゴミも含めたゴミのリサイクルが必要であり、市民に「自分で出したゴミは自分が責任を持つ」という自覚を持ってもらうことが肝要である。そのため清掃事務所がリーダーシップをとって、はっきりとしたゴミ処理の基本計画を立て区長会、婦人会、事業者等も含めた各種団体の協力体制を確立することが先決ではないのかとの意見が述べられた。

また、この大型破砕機の導入に当たっては、その計画立案の際、当委員会と十分協議して機種を選定することで意見の一致をみた。



オープンした明治公園テニス場

●総合病院対策特別委員会

○陳情について

大野市区長連合会から提出の「総合病院の早期建設について」は、総合病院の建設は市民の悲願であり、切実な要望であることからその願意を了とし、全会一致で採択と決した。

また、継続審査となっていた「大野総合病院の誘致の可否に対する知事への具申について」は、理事者も県に対し強くその対応を求めており、今後、ある程度の方向が示されるのではないかと判断から、引き続きその推移を見るため、賛成多数で継続審査となった。

決算特別委員会を設置

平成二年度大野市各会計決算を審査するため、決算特別委員会を設置されました。

委員長 林 順一
副委員長 竹内 安注
委員 天谷 光治
牧野幸太郎
佐々木一夫
藤田 護

水行政対策特別委員会委員長、副委員長を互選

水行政対策特別委員会の野田委員長、佐々木副委員長の辞任に伴い、新たに委員長に佐々木一夫議員、副委員長に坂元千秋議員が互選されました。